

かんきつ「早香」の透湿性シートのマルチ処理による着色促進						
【要約】かんきつ「早香」に透湿性シートでマルチ処理をすることにより、果実着色が樹冠上部、下部ともに促進され果皮色も良くなる。また、果実の糖度が高まり、浮皮も軽減される。						
三重県農業技術センター紀南かんきつセンターかんきつ担当				連絡先	05979-2-0008	
部会名	果樹	専門	栽培	対象	果樹類	分類 普及

【背景・ねらい】

年内収穫・出荷可能なかんきつとして「早香」が注目されている。「早香」は果実の減酸は早い、着色は遅く、特に、内成り、すそ成り果では着色が遅れるため、果肉先熟型の果実となり着色促進技術が必要となっている。そこで、透湿性シートのマルチ処理が果実の着色促進と果実品質向上に及ぼす効果を検討した。

【成果の内容・特徴】

- 1、果実の着色は、透湿性シートのマルチ処理により樹冠上部、下部ともに無処理に比べて早まる。また、果皮色も良くなる（表1、表2）。
- 2、果実品質では、透湿性シートのマルチ処理により糖度が高まり、クエン酸含量も多くなる。また、浮皮も軽減される（表1、表2）。
- 3、果実肥大は、透湿性シートのマルチ処理により劣る（表3）。
- 4、マルチ処理は収穫約2ヶ月前の10月上旬頃に行い、圃場全体に樹の根元まで被覆する。

【成果の活用面・留意点】

- 1、「早香」の栽培地域における果実の着色促進、果実品質向上技術として利用できる。
- 2、透湿性シートのマルチ処理により果実肥大が抑制されるので、早期摘果を心がける。

【具体的データ】

表1 透湿性シートのマルチ処理が「早香」の着色と浮皮に及ぼす影響（平成6年）

処 理 区		着 色 歩 合		浮皮指数
		12月6日	12月14日	12月14日
マ ル チ	樹冠上部	7.8	9.3	25.7
	樹冠下部	6.5	8.5	22.4
無 処 理	樹冠上部	5.7	8.4	41.5
	樹冠下部	4.8	7.6	31.7

表2 透湿性シートのマルチ処理が「早香」の果実品質に及ぼす影響（平成6年）

処 理 区	1果重 (g)	果形 指数	果肉歩 合(%)	果皮色 (カラーチャート)	糖度 (%)	クエン酸 (%)
マ ル チ	173	138	80.7	7.2	14.7	0.89
無 処 理	190	138	80.9	6.2	12.6	0.70

調査日：12月14日

表3 透湿性シートのマルチ処理が「早香」の果実肥大に及ぼす影響（平成6年）

処 理 区	果 実 横 径 (cm)		肥 大 率 (%)
	被覆前 (10月7日)	収穫前 (12月6日)	
マ ル チ	61.4	76.0	123.8
無 処 理	61.6	81.6	132.5

【その他】

研究課題名：早生カンキツ「早香」の栽培技術体系の確立
 予算区分：県単
 研究期間：平成6年度（平成5～7年）
 研究担当者：市ノ木山 浩道 大野 秀一 古崎 和義